



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松橋 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画部長 (氏名) 清水 健 (TEL) 03-3211-3041
 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	159,490	10.1	23,106	0.6	14,976	△59.0
2024年3月期第3四半期	144,807	26.7	22,950	0.3	36,584	138.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 15,390百万円(△61.5%) 2024年3月期第3四半期 40,049百万円(102.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	12.80	—
2024年3月期第3四半期	31.16	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,885,148	278,190	14.4
2024年3月期	1,717,818	275,856	15.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 272,992百万円 2024年3月期 270,537百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2025年3月期	—	5.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	8.6	28,000	△8.2	19,500	△39.0	16.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL、除外 1社(社名) —
MALAYSIA SDN. BHD.

(注) 重要な変更には該当いたしません。が、株式譲渡により株式会社セブン・グローバルレミットを除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	1,179,308,000株	2024年3月期	1,179,308,000株
2025年3月期3Q	9,374,453株	2024年3月期	9,391,049株
2025年3月期3Q	1,169,928,550株	2024年3月期3Q	1,173,789,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計方針の変更に関する注記）	8
（セグメント情報等の注記）	9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	10

（別紙）2025年3月期 第3四半期決算補足資料

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2025年2月7日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

・当期間の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境の改善が進んだことで緩やかな回復基調が続きました。一方、物価上昇に伴う消費者の生活防衛意識の変化や、欧米での高い金利水準による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益159,490百万円、経常利益23,106百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益14,976百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益103,093百万円、経常利益23,291百万円、四半期純利益15,368百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	144,807	159,490	10.1%増
経常利益	22,950	23,106	0.6%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36,584	14,976	59.0%減

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

①国内事業（銀行業その他）セグメント

当第3四半期連結累計期間は、預貯金金融機関や、消費者金融等のノンバンクの取引件数が堅調に増加したことに加え、当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数も引き続き順調に増加したことにより、ATM総利用件数は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

2024年12月末現在のATM設置台数は27,848台（2023年12月末比1.9%増）、当第3四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は108.8件（前年同期比3.1%増）、ATM総利用件数は824百万件（同5.3%増）となりました。なお、2024年12月末現在の提携金融機関等は684先（注）、第4世代ATMの設置台数は25,468台（2023年12月末比43.3%増）となりました。

また、ATMの共同運営やグループ外への積極的な設置を通じ、いつでもどこでもサービスが受けられる環境づくりに加え、ATMによるマイナンバーカードの健康保険証利用申込みや、マイナポータル情報連携サービスの提供、さらには、金融機関などの諸手続をATMで受け付ける新サービス「+Connect（プラスコネクト）」を提供するなど、ATMの可能性を広げるサービスプラットフォーム戦略も着実に進めております。

今後も物価上昇や金利・為替相場の変動、キャッシュレス化の進展等により、依然として先行き不透明な事業環境が予想されますが、ATMの社会的価値を現金プラットフォームからサービスプラットフォームへと進化させ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATMプラットフォーム戦略を今後も推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2024年3月期		2025年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	105.5件	105.0件	108.8件	105.8件
■ATM期間総利用件数	782百万件	1,039百万件	824百万件	1,066百万件
■ATM台数	27,302台	27,422台	27,848台	27,893台

個人のお客さまの預金口座数は3,266千口座（2023年12月末比10.1%増）と順調に増加し、個人向け預金残高は6,206億円（同2.8%増）、個人向けローンサービスの残高は546億円（同32.8%増）となりました。

また、「セブン銀行後払いサービス」の当第3四半期連結累計期間における取扱高は553億円（前第3四半期連結累計期間比24.1%増）となりました。

	2024年3月期		2025年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,964千口座	3,037千口座	3,266千口座	3,700千口座
■個人預金残高	6,036億円	5,983億円	6,206億円	6,540億円
うち普通預金残高	4,846億円	4,829億円	5,087億円	—
うち定期預金残高	1,189億円	1,154億円	1,118億円	—
■個人向けローン残高	411億円	443億円	546億円	600億円

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の国内事業（銀行業その他）セグメントにおける経常収益は105,958百万円、経常利益は23,176百万円となりました。

②クレジットカード・電子マネー事業セグメント

当社連結子会社の株式会社セブン・カードサービスは、クレジットカード事業・電子マネー事業を運営しております。

2024年12月末時点でのクレジットカード会員数は329万人、金融商品残高は453億円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間のクレジットカードショッピング取扱高は5,989億円となりました。

また、2024年12月末時点での電子マネー「nanaco」会員数は8,303万人、当第3四半期連結累計期間の電子マネー取扱高は12,533億円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のクレジットカード・電子マネー事業セグメントにおける経常収益は22,165百万円、経常利益は509百万円となりました。

③海外事業セグメント

米国における当社連結子会社のFCTI, Inc. は、米国セブン - イレブン店舗にATMを設置しており、2024年9月末時点のATM設置台数は8,471台（2023年9月末比2.0%減）となりました。

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、現地コンビニエンスストア店舗へのATM設置を推進しており、2024年9月末時点のATM設置台数は9,132台（2023年9月末比24.0%増）となりました。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、フィリピン国内のセブン - イレブン店舗へのATM設置が堅調に推移し、2024年9月末時点のATM設置台数は3,447台（2023年9月末比25.2%増）となりました。

なお、マレーシアにおいては、当社連結子会社のABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL MALAYSIA SDN. BHD. が、2025年1月にマレーシア国内のセブン - イレブン店舗へATMを設置し、ATM運営事業を開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントにおける経常収益は32,276百万円、経常損失は583百万円となりました。

当社は社会の変化に伴い顕在化・深刻化する社会課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は1,885,148百万円となりました。このうちA T M運営のために必要な現金預け金が1,209,015百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が132,431百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるA T M仮払金が151,655百万円、クレジットカード事業における債権である会員未収金が142,217百万円となっております。

負債は1,606,958百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は937,952百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は508,765百万円、定期預金残高は111,857百万円となっております。

純資産は278,190百万円となりました。このうち利益剰余金は203,882百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減
総資産	1,717,818	1,885,148	167,329
負債	1,441,962	1,606,958	164,996
純資産	275,856	278,190	2,333

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2024年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	988,932	1,209,015
コールローン	50,000	-
有価証券	118,077	132,431
貸出金	56,289	66,201
外国為替	0	0
A T M仮払金	205,420	151,655
会員未収金	134,340	142,217
その他資産	76,038	84,525
有形固定資産	39,150	45,765
無形固定資産	46,795	50,743
退職給付に係る資産	2,615	2,770
繰延税金資産	4,751	4,967
貸倒引当金	△4,593	△5,145
資産の部合計	1,717,818	1,885,148
負債の部		
預金	914,768	937,952
譲渡性預金	650	720
コールマネー	110,000	281,000
借入金	19,052	30,500
社債	65,000	50,000
A T M仮受金	118,566	92,637
クレジットカード事業未払金	42,429	45,930
電子マネー預り金	70,899	65,690
その他負債	97,177	100,886
賞与引当金	1,032	572
退職給付に係る負債	25	26
役員退職慰労引当金	29	8
株式給付引当金	812	930
訴訟損失引当金	1,418	-
繰延税金負債	99	103
負債の部合計	1,441,962	1,606,958
純資産の部		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,850	31,071
利益剰余金	201,836	203,882
自己株式	△2,744	△2,739
株主資本合計	260,666	262,939
その他有価証券評価差額金	607	455
為替換算調整勘定	8,574	8,980
退職給付に係る調整累計額	688	617
その他の包括利益累計額合計	9,870	10,053
新株予約権	12	27
非支配株主持分	5,306	5,169
純資産の部合計	275,856	278,190
負債及び純資産の部合計	1,717,818	1,885,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	144,807	159,490
資金運用収益	5,868	8,104
(うち貸出金利息)	5,365	7,087
(うち有価証券利息配当金)	110	279
役務取引等収益	137,156	148,575
(うちATM受入手数料)	111,857	118,068
(うちクレジットカード営業収入)	6,859	9,247
(うち電子マネー営業収入)	7,350	9,237
その他業務収益	305	181
その他経常収益	1,476	2,628
経常費用	121,857	136,384
資金調達費用	855	1,492
(うち預金利息)	23	309
役務取引等費用	39,322	42,328
(うちATM設置支払手数料)	23,574	24,098
(うちATM支払手数料)	7,581	7,584
(うちクレジットカード業務経費)	2,568	4,232
(うち電子マネー業務経費)	738	656
その他業務費用	-	7
営業経費	79,316	89,575
その他経常費用	2,363	2,980
経常利益	22,950	23,106
特別利益	22,326	76
固定資産処分益	-	0
持分変動利益	-	76
関係会社株式売却益	785	-
負ののれん発生益	21,540	-
特別損失	1,429	1,064
固定資産処分損	364	455
減損損失	269	609
その他の特別損失	795	-
税金等調整前四半期純利益	43,846	22,118
法人税、住民税及び事業税	7,081	7,179
法人税等調整額	144	△117
法人税等合計	7,226	7,061
四半期純利益	36,620	15,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,584	14,976

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	36,620	15,056
その他の包括利益	3,428	334
その他有価証券評価差額金	△145	△152
為替換算調整勘定	3,622	557
退職給付に係る調整額	△47	△70
四半期包括利益	40,049	15,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,548	15,159
非支配株主に係る四半期包括利益	501	230

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業 (銀行業 その他)	クレジット カード・ 電子マネー 事業	海外事業	計		
経常収益						
ATM受入手数料	84,081	—	27,807	111,889	△31	111,857
クレジットカード営業収入	—	4,237	—	4,237	—	4,237
電子マネー営業収入	—	7,350	—	7,350	—	7,350
その他	9,942	1,189	117	11,249	△305	10,944
顧客との契約から生じる 経常収益	94,023	12,777	27,925	134,726	△337	134,389
その他の経常収益	6,594	3,699	404	10,698	△279	10,418
外部顧客に対する 経常収益	100,618	16,477	28,329	145,425	△617	144,807
セグメント間の 内部経常収益	351	12	—	363	△363	—
計	100,970	16,489	28,329	145,789	△981	144,807
セグメント利益又は損失(△)	23,945	469	△1,163	23,252	△302	22,950

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額は、主にセグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

国内事業（銀行業その他）セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に269百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

クレジットカード・電子マネー事業セグメントにおいて、株式会社セブン・カードサービスの株式を取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を特別利益に計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、21,540百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業 (銀行業 その他)	クレジット カード・ 電子マネー 事業	海外事業	計		
経常収益						
ATM受入手数料	86,306	—	31,762	118,068	—	118,068
クレジットカード営業収入	—	5,368	—	5,368	—	5,368
電子マネー営業収入	—	9,237	—	9,237	—	9,237
その他	9,686	2,097	81	11,864	—	11,864
顧客との契約から生じる 経常収益	95,992	16,703	31,843	144,539	—	144,539
その他の経常収益	9,459	5,442	432	15,334	△383	14,950
外部顧客に対する 経常収益	105,451	22,145	32,276	159,873	△383	159,490
セグメント間の 内部経常収益	506	19	—	525	△525	—
計	105,958	22,165	32,276	160,399	△909	159,490
セグメント利益又は損失（△）	23,176	509	△583	23,102	3	23,106

- （注） 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2. 調整額は、主にセグメント間の取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る減損損失）

国内事業（銀行業その他）セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に609百万円の減損損失を計上しております。

（のれんの金額の変動）

国内事業（銀行業その他）セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては、262百万円であります。

なお、上記（固定資産に係る減損損失）に当該のれんの減損も含めて記載しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	16,922百万円	21,282百万円
のれんの償却額	67百万円	67百万円

2025年3月期 第3四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体）	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体）	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体）	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況	補足4

1. 四半期財務諸表（単体）

(1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	956,804	1,176,293
コールローン	50,000	—
有価証券	172,795	187,187
貸出金	44,468	54,792
外国為替	0	0
A T M仮払金	198,172	148,953
その他資産	33,255	41,311
有形固定資産	29,023	34,865
無形固定資産	38,484	43,009
前払年金費用	921	1,092
繰延税金資産	1,131	1,074
支払承諾見返	13,300	13,800
貸倒引当金	△1,802	△1,823
資産の部合計	1,536,555	1,700,558
負債の部		
預金	949,751	964,333
譲渡性預金	650	720
コールマネー	110,000	281,000
借入金	—	17,300
社債	65,000	50,000
A T M仮受金	118,566	92,637
その他負債	29,588	28,909
賞与引当金	634	369
株式給付引当金	812	930
支払承諾	13,300	13,800
負債の部合計	1,288,303	1,449,999
純資産の部		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,724	30,724
利益剰余金	188,926	191,365
自己株式	△2,744	△2,739
株主資本合計	247,631	250,075
その他有価証券評価差額金	607	455
評価・換算差額等合計	607	455
新株予約権	12	27
純資産の部合計	248,252	250,558
負債及び純資産の部合計	1,536,555	1,700,558

(2) 四半期損益計算書（単体）

第3四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
経常収益	97,391	103,093
資金運用収益	4,511	6,217
（うち貸出金利息）	4,299	5,584
（うち有価証券利息配当金）	110	279
役務取引等収益	91,722	94,055
（うちA T M受入手数料）	83,884	86,066
その他業務収益	306	178
その他経常収益	851	2,641
経常費用	73,317	79,801
資金調達費用	198	724
（うち預金利息）	23	309
役務取引等費用	19,008	20,208
（うちA T M設置支払手数料）	13,200	13,449
（うちA T M支払手数料）	1,994	2,170
その他業務費用	—	7
営業経費	53,126	57,717
その他経常費用	983	1,142
経常利益	24,074	23,291
特別利益	200	—
関係会社株式売却益	200	—
特別損失	955	945
固定資産処分損	357	400
関係会社株式評価損	297	545
その他の特別損失	299	—
税引前四半期純利益	23,319	22,345
法人税、住民税及び事業税	7,329	6,852
法人税等調整額	21	124
法人税等合計	7,350	6,977
四半期純利益	15,968	15,368

2. 自己資本比率（国内基準）の状況

(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2024年12月末
連結自己資本比率（国内基準）	29.75%

(参考) 2024年3月末
30.74%

(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2024年12月末
単体自己資本比率（国内基準）	41.41%

(参考) 2024年3月末
42.37%